

事業所名

こどもの家こより

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

10月

1日

法人（事業所）理念		全ての人が笑顔になれる社会の実現					
支援方針		安全に命を大切に子供と一緒に楽しむ。初心に戻ってみんなで話し合いをしてより良い支援が出来るようにする。					
営業時間		10時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・けいれん発作時、経過観察または緊急時の対応をし保護者様と情報の共有を致します。 声掛け、マッサージにて筋緊張の緩和を図り安全に活動に参加できるよう援助していきます。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・バギーや背面介助での座位など、内容に合わせた姿勢で活動に取り組みます。体調に合わせて、排痰ケアを実施したり、臥床中の良肢位保持に努め、安楽に過ごせるよう支援します。 ・「動きたい」「座りたい」「立ちたい」の気持ちに寄り添い、体調を見ながら装具立位や座位、四つ這いなどを一緒に行います。体を動かす楽しさを大人と一緒に共有します。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな遊びを見つけて大人と一緒に遊び、楽しいを共有して「もう1回やって」の気持ちを育みます。 ・介助座位や抱っこ、うつ伏せなど、様々な姿勢を安全に行えるよう介入します。 そのなかで体を動かす楽しみや「気になるな」共有し引き出せるよう支援します。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容や食事中の過ごし方など、自から選択したり職員と話し合っ決めて自分の想いを表出できるように促します。 様々な物や感触に触れ「知ってる」の気持ちを促します。また少しずつ自ら興味のあるものに手を伸ばせるよう支援します。 					
	認知・行動	感覚の活用や認知機能の発達視覚、聴覚、感触等の					
家族支援		連絡帳や電話、面談等を通してお子様の情報共有を行います。 参観や個別療育を通して家庭での関わりに対して相談支援を行います。			移行支援		地域の保育、教育等支援を受けられるように情報共有等を通して、スムーズな移行を支援します。ライフステージの切り替えに合わせ、関係機関への情報提供を行います。
地域支援・地域連携		必要に応じて併用先への訪問や電話での情報共有等の連携を図ります。			職員の質の向上		法人内外での勉強会、研修への参加を行います。 日々の支援前後、毎月のミーティングの中で情報共有や支援方針の確認を行います。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・遠足 ・夏祭り ・卒園式 ・餅つき大会 ・イチゴ狩り ・卒園児遠足 					